



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 中南米セット 中学校向

このセットに含まれる本のリストと内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	世界の地理：国別大図解 5（南北アメリカの国々）改訂版	学研プラス	2019	Y2-N19-M79	—
2	地図で見るラテンアメリカハンドブック	原書房	2017	GH341-L11	—
3	世界の文化と衣食住：国の記念日と祝日 [4]（南北アメリカ・オセアニア）	小峰書店	2019	Y2-N19-M180	—
4	南・北アメリカの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 6）	ポプラ社	2003	YU81-H55	—
5	スペイン・ポルトガルの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 11）	小峰書店	2005	YU81-H343	—
6	旅するこどものポルトガル語 リオデジャネイロ編	成美堂出版	2020	Y8-N20-M19	ブラジル
7	写真で学ぶ世界遺産 2（南北アメリカ・オセアニア）	汐文社	2015	Y6-N15-L137	—
8	世界の絶景アルバム 101：南米・カリブの旅	ダイヤモンド・ビッグ社	2013	GH357-L2	—
9	南北アメリカのあやとり：先住民の文化と生活から生まれたかたち	誠文堂新光社	2019	KD958-M7	—
10	写真でわかる謎への旅 イースター島	雷鳥社	2005	GJ136-H2	チリ
11	古代マヤ：密林に開花した神秘の文明の軌跡をたどる（ナショナルジオグラフィック 考古学の探検）	BL 出版	2014	Y2-N14-L106	メキシコ
12	マチュ・ピチュのひみつ：インカ帝国の失われた都市（世界遺産◎考古学ミステリー）	六耀社	2015	Y2-N15-L473	ペルー
13	コロンブスの航海	評論社	1979	Y2-409	—
14	ダーウィンが見たもの	福音館書店	2014	Y3-N14-L88	—
15	カリブ海の宝石「モラ」	パレード	2007	KB16-H1108	パナマ
16	ストライカーを科学する：サッカーは南米に学べ！	岩波書店	2019	Y12-N19-M289	—
17	平和ってなんだろう：「軍隊をすてた国」コスタリカから考える	岩波書店	2009	Y1-N09-J336	コスタリカ
18	コロンビア（ナショナルジオグラフィック世界の国）	ほるぷ出版	2009	Y2-N10-J12	コロンビア
19	グアテマラ（ナショナルジオグラフィック世界の国）	ほるぷ出版	2011	Y2-N12-J16	グアテマラ
20	ジャマイカ（ナショナルジオグラフィック世界の国）	ほるぷ出版	2010	Y2-N10-J289	ジャマイカ
21	ペルー（ナショナルジオグラフィック世界の国）	ほるぷ出版	2008	Y2-N08-J14	ペルー
22	ブラジルと出会う	国土社	2001	Y1-N01-66	ブラジル
23	池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国 3（リオデジャネイロ・ブラジル）	講談社	2015	Y2-N16-L14	ブラジル
24	ビジュアル版近代日本移民の歴史 1（南アメリカ～ブラジル）	汐文社	2016	Y1-N16-L326	ブラジル
25	聞いてみました！日本にくらす外国人 3（アメリカ・カナダ・ブラジル・コロンビア）	ポプラ社	2018	Y5-N18-L180	—
26	しらべよう！世界の料理 7（中央・南アメリカ オセアニア）	ポプラ社	2017	Y2-N17-L101	—
27	南北アメリカのお菓子（どんな国？どんな味？世界のお菓子 6）	岩崎書店	2005	Y1-N05-H129	—
28	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	2014	Y1-N14-L210	ウルグアイ
29	ジャングル（絵本図鑑シリーズ 14）	岩崎書店	1993	Y11-4957	コスタリカ
30	パタゴニア、アンデス、アマゾン大自然ガイド	彩流社	2019	GH357-M1	—
31	ガラパゴスがこわれる	ポプラ社	2007	RA172-J1	エクアドル
32	ブラジルのむかしばなし 3	東京子ども図書館	2013	Y9-N13-L143	ブラジル
33	ペルー・ボリビアのむかし話：インカにつたわる話	偕成社	2000	Y9-N04-H357	ペルー・ボリビア
34	Veo, veo : descubriendo el arte de Socorro Salinas Segunda edición（スペイン語）（見つけた、見つけた）	Ediciones Ekaré	2014	Y6-B730	ベネズエラ
35	道はみんなのもの	さ・え・ら書房	2013	Y18-N13-L29	ベネズエラ
36	La calle es libre（スペイン語）（道はみんなのもの）	Ediciones Ekare	1981	Y17-A7390	ベネズエラ
37	むこう岸には	ほるぷ出版	2009	Y18-N09-J188	チリ
38	La otra orilla（スペイン語）（むこう岸には）	Ediciones Ekaré	2007	Y17-B10035	チリ
39	La niña de la Calavera（スペイン語）（どくろの少女）	Editorial Amanuta	2006	Y17-B10765	チリ
40	やんちゃなマルキーニョ	静山社	2009	Y18-N09-J421	ブラジル
41	O menino maluquinho（ポルトガル語）（やんちゃなマルキーニョ）	Melhoramentos	2000	Y17-B10571	ブラジル
42	Cambalhota（ポルトガル語）（とんぼ返り）	Companhia das Letrinhas	2003	Y17-B3632	ブラジル



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

1. 世界の地理：国別大図解 5（南北アメリカの国々）改訂版

井田仁康 監修
学研プラス 2019年

北米2国と中南米の主な21の国々について、首都、人口などの基本データ、自然や産業、歴史などを、カラー写真や図を使って一目で特色がわかるように紹介している。巻頭の南北アメリカの地図で全体の位置関係を把握し、巻末の基本データ一覧で中南米全33カ国を比較できる。

2. 地図で見るラテンアメリカハンドブック

オリヴィエ・ダベース、フレデリック・ルオー 著、オレリー・ボワシエール 地図製作、太田佐絵子 訳
原書房 2017年

植民地時代から現代にいたるまでのラテンアメリカの社会・経済・政治などを図やグラフを用いて紹介する。各国が抱える問題の歴史と現状、国際関係についても述べられている。巻末に各国の基本データ、用語解説、参考文献、索引あり。

3. 世界の文化と衣食住：国の記念日と祝日 [4]（南北アメリカ・オセアニア）

鈴木佑司 監修
小峰書店 2019年

各国の「衣装・料理・住居」の特色と国の記念日、祝日・祭日を、カラー写真をふんだんに使って紹介するシリーズ。伝統的な行事も紹介されており、その国の文化や歴史をわかりやすく学ぶことができる。巻末に索引あり。

4. 南・北アメリカの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 6）

千葉泉 著、こどもくらぶ 編
ポプラ社 2003年

主に中南米の民族音楽を紹介。様々な人々が影響しあい、サンバやタンゴのリズムや音楽が育まれてきたことがわかる。ペルーのケーナ（縦笛）やブラジルのアタバーキ（打楽器）等、多くの民族楽器の写真に掲載。索引あり。

5. スペイン・ポルトガルの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 11）

黒澤直俊 監修、こどもくらぶ 著
小峰書店 2005年

中南米でも主としてスペイン語とポルトガル語が使われている。この本では文字やあいさつの表現の他にも、食べ物など、生活に密着した言葉が写真とともに紹介されている。多言語の看板写真など、文字からその国の文化に親しむことができる。

6. 旅するこどものポルトガル語 リオデジャネイロ編

コンデックス情報研究所 編著
成美堂出版 2020年

ブラジルで話されているポルトガル語は、ポルトガルとは発音が異なりブラジルポルトガル語とも呼ばれる。本書は中学2年生と小学6年生の姉弟がリオデジャネイロでポルトガル語を使って旅をする設定で書かれている。言葉だけでなく、ブラジルの名所や文化が分かりやすく紹介され、実際に旅をするように興味を持つことができる。

7. 写真で学ぶ世界遺産 2（南北アメリカ・オセアニア）

平川陽一 編著
汐文社 2015年

文化遺産、自然遺産など、ユネスコの世界遺産を豊富なカラー写真で紹介するシリーズ。中南米では、マチュ・ピチュやナスカの地上絵、ガラパゴス諸島など 2014 年までに登録された 26 か所を掲載し、分かりやすい解説を付す。巻末に用語解説・参考文献あり。

8. 世界の絶景アルバム 101：南米・カリブの旅

武居台三 写真・文

ダイヤモンド・ビッグ社 2013 年

写真を主体としたビジュアルブック。南米とカリブ海の 25 か国から 101 か所を紹介。遺跡のたたずまい、大自然のおりなす風景、町の姿などバラエティに富んだ写真がおさめられている。

9. 南北アメリカのあやとり：先住民の文化と生活から生まれたかたち

野口とも 著

誠文堂新光社 2019 年

南北アメリカに伝えられているあやとりの形を写真で紹介する。2 章では紹介した中から 12 種類のとりかたを図で説明。初級、中級、上級とあるので実際にやってみるのも楽しい。

10. 写真でわかる謎への旅 イースター島

柳谷紀一郎 著

雷鳥社 2005 年

雄大で荘厳な島の風景写真とともにモアイの謎を解き明かす本。写真から、現在の島での暮らしもわかる。1990 年代に日本のクレーン会社が出資し、日本とチリの考古学会協同の「モアイ修復プロジェクト」により、200 年ぶりにモアイは起き上がった。

11. 古代マヤ：密林に開花した神秘の文明の軌跡をたどる（ナショナルジオグラフィック、考古学の探検）

ナサニエル・ハリス 著、エリザベス・グレアム 監修、赤尾秀子 訳

BL 出版 2014 年

メキシコ南部のユカタン半島に栄えたマヤ文明。その起源、大都市の発展の様子、庶民の暮らしについて、近年の研究成果をもとに豊富なカラー写真を用いて分かりやすく解説する。「歴史の謎をとく探偵」としての考古学者の仕事ぶりも興味深い。巻末に索引・参考文献あり。

12. マチュ・ピチュのひみつ：インカ帝国の失われた都市（世界遺産◎考古学ミステリー）

スザンヌ・ガーブ 著、六耀社編集部 編訳

六耀社 2015 年

20 世紀にアメリカの歴史学者ビンガムによって「発見」された、インカ帝国の都市マチュ・ピチュは、アンデス山脈の奥地に作られたためスペインによる破壊を免れ、当時の姿をとどめていた。この建造物と遺物を手掛かりに、考古学者らが解明しつつあるインカ帝国の謎をカラー写真や図版を多用して分かりやすく解説する。遺跡の保護活動についても触れられている。

13. コロンブスの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵、ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文、吉田悟郎 訳

評論社 1979 年

コロンブスが黄金の島ジパングを目指した当時の船や乗組員の服装、港町の様子を挿絵とともに解説する。当時の地理概念、初めに到着した島の原住民の暮らしについても書かれている。トウモロコシ、ジャガイモなどが世界中に広まることになった一方、数百年の植民地の歴史の幕開けでもあった。

14. ダーウィンが見たもの

ミック マニング, ブリタ グランストローム さく, 渡辺政隆 やく
福音館書店 2014年

ダーウィン本人が、自分の少年時代から進化論が生まれるまでの半生を物語る形式の伝記絵本。カラフルな水彩画で大胆に描かれた人物や動物たちが目を引く。ビーグル号に乗り込んで多種多様な自然を観察し、長い考察を経て、20年後ついに『種の起源』を出版するまでの経緯が分かりやすく説明されている。巻末に解説あり。

15. カリブ海の宝石「モラ」：前田佳子コレクション

前田佳子 著
パレード 2007年

カリブ海に浮かぶパナマ共和国サンブラス諸島に住む先住民族、クナ族が作る民族衣装モラの写真集。鮮やかな色使いやユニークな文様のアップリケされたモラは、見るだけでも楽しい。日本で長年モラを教えてきた筆者がクナ族を訪ねた生活体験記も含まれている。

16. ストライカーを科学する：サッカーは南米に学べ！（岩波ジュニア新書 904）

松原良香 著
岩波書店 2019年

著者の松原良香氏は1996年アトランタ五輪サッカー日本代表で、現役時代はウルグアイリーグでもプレーし、南米サッカーに詳しい。その松原氏が、南米の有名選手や監督へのインタビューを交えながら、世界で通用するストライカーの条件や、その育成方法を分析し、日本サッカーの「決定力」強化策を提言する。若い選手への、具体的な練習方法やメンタル面のアドバイスが豊富。

17. 平和ってなんだろう：「軍隊をすてた国」コスタリカから考える

足立力也 著
岩波書店 2009年

コスタリカにはなぜ軍隊がないのか。中学3年生の社会科公民の授業中に疑問を抱いた著者は、その後、実際にコスタリカに行き取材する。「積極的永世非武装中立宣言」は、やむにやまれぬ事情から出されていた。開かれた国会、子どもが参加する選挙、塙のない刑務所、無料の病院など興味深い。

18. コロンビア（ナショナルジオグラフィック世界の国）

アニタ・クロイ 著, ウルリッヒ・オスレンダー, マウリシオ・パルド 監修
ほるぷ出版 2009年

南アメリカへの玄関口と呼ばれるコロンビアを自然、文化、歴史、政治などあらゆる面から詳しい解説と共に紹介する。多くの財宝が沈んでいるというグアタヴィータ湖の伝説や、一日に3万匹ものアリを食べるオオアリクイ、歌手シャキーラを説明したコラムがある。巻末に年表、用語解説、索引あり。

19. グアテマラ（ナショナルジオグラフィック世界の国）

アニタ・クロイ 著, マシュー・テイラー, エドウィン・J. カステジャノス 監修
ほるぷ出版 2011年

中米の国、グアテマラ共和国を紹介する。国土面積は日本の本州の半分くらいしかないが、標高差が大きく、それが地域ごとに多様な気候を生み出している。また地震や噴火も多く、度重なる災害を乗り越えてきた。かつてマヤ文明が栄えていた地域でもあり、現在も多くの異なる言語をもつ人々が作り出す豊かな文化が存在している。巻末に年表、用語解説、索引あり。

20. ジャマイカ (ナショナルジオグラフィック世界の国)

ジェン・グリーン 著, デビッド・J.ハワード, ジョエル・フレイター 監修
ほるぷ出版 2010年

カリブ海に浮かぶ島国ジャマイカの地理と自然、歴史、文化、政治経済を概説する。ジャマイカは植民地制度と奴隷制度に苦しみながらも1962年に完全独立を遂げた。そうした歴史と共に、豊かな自然や明るく魅力的な国民性を紹介する。巻末に年表、用語解説、索引あり。

21. ペルー (ナショナルジオグラフィック世界の国)

アニタ・クロイ 著, ヒルデガルド・コルドヴァ・アグィラー, デービッド・J.ロビンソン 監修
ほるぷ出版 2008年

南米で3番目に大きな国ペルー。この国の地理に始まり、自然、文化、歴史、政治事情に至るまでを紹介する。インカ帝国の謎や「グアノという鳥の糞で儲けた話」などのコラムがある。巻末に年表、用語解説、索引等あり。

22. ブラジルと出会おう

谷啓子, 富本潤子 編著
国土社 2001年

南米出身者への教育問題に取り組んでいる「外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)」ポルトガル語教室が編集。ブラジルの記念日やお祭り、子どもの好きな軽食や菓子の作り方、遊び、歴史や日本との関わりなどが書かれている。ポルトガル語の章では、カードを作って遊びながら言葉を学べる。

23. 池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国 3 (リオデジャネイロ・ブラジル)

池上彰 監修, 稲葉茂勝 訳・著, こどもくらぶ 編集
講談社 2015年

ブラジルでは、2014年にサッカーのFIFAワールドカップ、2016年には夏季オリンピックが開催された。本書は巻頭で大都市リオデジャネイロの歴史や人口、住環境などを紹介している。後半では、ブラジルの政治や教育、経済、文化、日本とのつながりなどを写真やグラフなどを用いてわかりやすく解説している。巻末に索引あり。

24. ビジュアル版近代日本移民の歴史 1 (南アメリカ～ブラジル)

「近代日本移民の歴史」編集委員会 編
汐文社 2016年

明治後期から始まったブラジルへの日本人集団移民。コーヒー農園で契約農民として働いたり、原始林を開墾して綿花を栽培したりと苦難の末、ブラジルに溶け込んで日系人社会を築き上げた歴史を、当時の写真やデータと共に紹介する。巻末に関連資料、索引、参考文献あり。

25. 聞いてみました！日本にくらす外国人 3 (アメリカ・カナダ・ブラジル・ポルトガル)

佐藤郡衛 監修
ポプラ社 2018年

来日した外国人に、日本に興味をもったきっかけや来日の理由、現在のくらしや仕事などをインタビューするシリーズ。この巻では、ブラジル、コロンビアなどの出身者を取り上げる。各章の最後にその国の基本情報がまとめられている。巻末に索引あり。

26. しらべよう！世界の料理 7 (中央・南アメリカ オセアニア)

ポプラ社 2017年

各国の料理を紹介することにより、様々な文化や風土の違いを学ぶことができるシリーズ。メキシコ料理の「タコス」、キューバ料理の「トストネス」、ブラジル料理の「コジード」などを紹介する。

国ごとの基本情報のほか、料理の特徴や代表的な食材などに関する説明もある。巻末に索引あり。

27. 南北アメリカのお菓子（どんな国？どんな味？世界のお菓子 6）

服部幸應，服部津貴子 監修・著
岩崎書店 2005年

お米をミルクで煮た「アロス・コン・レチュエ」やアンデス原産のかぼちゃやさつまいもを使ったドーナツ「ピカロネス」など南北アメリカに伝わるお菓子 10 種類のレシピを紹介。アンデス原産の野菜が世界中に伝わった理由や、南米各国の食生活など、お菓子の説明に加えた食文化に関する説明がある。巻末に用語説明と索引あり。

28. 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

[ムヒカ][述]，くさばよしみ 編，中川学 絵
汐文社 2014年

2012年にブラジルのリオデジャネイロで行われた国際会議でのウルグアイ大統領ムヒカ氏の演説を子ども向けに意識した絵本。豊かさとは、貧しさとは、幸せとはなにかを問いかける内容である。

29. ジャングル（絵本図鑑シリーズ 14）

松岡達英 作
岩崎書店 1993年

コスタリカの熱帯雨林で、多種多様な生物が調和して生きている様子を紹介する。著者がスカンクをトイレから観察する様子など、各々の絵には著者が現地で観察した内容が説明されている。あとがきでは、森林伐採の現状や自然保護の大切さを訴えている。見返しに現地でのデッサンとメモがある。

30. パタゴニア、アンデス、アマゾン大自然ガイド

さかぐちとおる 写真・文
彩流社 2019年

南米大陸の南に位置し大小の氷河を擁するパタゴニア地方、世界最長の山脈があるアンデス高地、アマゾン川流域と熱帯地方を紹介。景勝地やそこに生息する動物・植物の写真が多数掲載されている。著者による解説から南米の豊かな自然を改めて知ることができる。

31. ガラパゴスがこわれる

藤原幸一 写真・文
ポプラ社 2007年

南米エクアドルにある楽園ガラパゴス諸島。16年間ガラパゴスを撮り続けた著者は、生き物が人間によって危機に直面する様子を色鮮やかな写真で伝える。悲惨な現状を知るのみでなく、人間の知恵を使い未来へ行動することを示唆する一冊。巻末に英文併記で各写真の解説あり。

32. ブラジルのむかしばなし 3

カメの笛の会 編
東京子ども図書館 2013年

ブラジルの昔話 2 編とブラジルに関するやさしいクイズや植物についてのコラムが、日本語とポルトガル語の両方で収録されている。

33. ペルー・ボリビアのむかし話：インカにつたわる話

加藤隆浩 編訳
偕成社 1989年

インカ帝国の子孫、ケチュア族とその近隣の民族の昔話集。著者が直接に聞き書きした昔話も含め、ペルー14話、ボリビア9話を収録する。みすぼらしい姿の老人が神様だったという「黄金になった小麦粉」や先住民の正直さを伝える「石のスープ」などがある。

34. **Veo, veo : descubriendo el arte de Socorro Salinas Segunda edición** (スペイン語)

見つけた、見つけた*

textos de M^a Francisca Mayobre y Vicente Lecuna
Ediciones Ekaré 2014年

ベネズエラ出身の画家の絵の中から、指定された人や物を探し出す絵本。ベネズエラの街や人々の様子が、鮮やかな色で生き生きと描かれている。

*: タイトルは参考訳です

35. **道はみんなのもの**

クルーサ 文, モニカ・ドペルト 絵, 岡野富茂子, 岡野恭介 共訳
さ・え・ら書房 2013年

36. **La calle es libre** (スペイン語)

texto, Kurusa, imágenes, Monika Doppert
Ediciones Ekare c1981年

13か国語で翻訳出版されている、実話をもとに生まれたロングセラー絵本。急激に人口が増え、空き地さえ消えてしまった街で、「安全な遊び場が欲しい」と子どもたちが立ち上がる。やがて大人もその熱意に動かされ、みんなの協力ですぐに公園が完成するまでを描く。斜面に立ち並ぶレンガ造りの家、人々のカラフルな服装など、ベネズエラの市井の空気が色濃く感じられる。

37. **むこう岸には**

マルタ・カラスコ 作, 宇野和美 訳
講談社 1995年

38. **La otra orilla** (スペイン語)

Marta Carrasco
Ediciones Ekare 2007年

チリの絵本。川辺に住む女の子は、母からむこう岸に行かないと言われていた。ある日、対岸の男の子の誘いで川を渡る。住んでいる人々の髪や肌の色も服装も自分達とは違っていたが、焼き立てのパンからは同じ匂いがした。二人はいつか川に橋をかけて、行き来したいと願う。2008年国際児童図書評議会オナーリスト(イラストレーション作品)に選ばれている。

39. **La niña de la calavera : cuento basado en un relato mapuche** (スペイン語)

どくろの少女：マプチェ人の昔話*

Marcela Recabarren, ilustraciones, Raquel Echenique
Editorial Amanuta 2006年

チリ南部の先住民族マプチェ人の昔話。美しい娘が、美しさを妬んだ意地悪な継母から戦士の骨で呪いをかけられ、顔をどくろに変えられてしまう。呪いを解くため、娘が別の戦士の骨をあつめると骨は立派な戦士になった。アニメーション映画を基に絵本化した作品。図案化された絵柄でマプチェ人の衣装や髪型、現地の動植物の特徴をよくとらえる。2006年国際児童図書評議会オナーリスト(イラストレーション作品)に選ばれている。

*: タイトルは参考訳です

40. **やんちゃなマルキーニョ**

ジラルド 作, 松本乃里子 訳

静山社 2009年

41. O menino maluquinho (ポルトガル語)

Ziraldo

Melhoramentos c2000年

ブラジルで1980年の初版以来、親から子へ読み継がれて来た絵本。元気いっぱい何でも興味を示すマルキーニョは、作者の幸せな子ども時代の回想である。サッと飛び跳ねるようなタッチの漫画風な絵が、マルキーニョのやんちゃぶりとよく合い、ブラジルの男の子の日常がわかる。ブラジルでは、続編も出されシリーズ化している。

42. Cambalhota(ポルトガル語)

とんぼ返り*

Ricardo da Cunha Lima, ilustracoes de Mariana Massarani.

Companhia das Letrinhas 2003年

ブラジルの詩の絵本。工場長が発明した座面が上下し、健康にもよく、嫌な客を追い払うこともできるという「自動椅子」や、町の交通問題を解決するために市役所がしゃべる標識を設置する「おしゃべりな標識」など、身の回りのものを題材とした楽しい詩が表情豊かな絵とともに並ぶ。2006年国際児童図書評議会オナーリスト（イラストレーション作品）に選ばれている。

*：タイトルは参考訳です

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL: <https://www.kodomo.go.jp/>